

4月29日(月)に縮景園で恒例の茶摘茶会が開催されました。ことし入城400年を迎える旧広島藩主浅野家の伝統行事として八十八夜に行われていた茶摘を再現したもので、今回が55回目になります。上田宗箇流茶道を学ぶ学生たちが茶摘と茶揉みの実演をし、本校からは茶道部5名が参加しました。

今年はいにくの天候で、肌寒い一日でしたが、たくさんのお客様が来られ、早乙女姿で新茶の接待をして喜んでいただきました。



しとしと雨が降る中、合羽を着て移動しました。



雨のため、笠をかぶって新芽を摘み取りました。



摘まれた茶葉は蒸して、ほい炉と呼ばれる作業台の上で揉みます。下から炭火で熱しています。



寒い中お越しいただいたお客様方に新茶をふるまいました。



私たちが最後に暖かい新茶をいただき、ほっと一息つきました。大変貴重な体験をすることができ、有意義な一日でした。